



## リオデジャネイロ パラリンピック 卓球 日本代表 岩渕 幸洋選手が練馬区長へ表敬訪問

と き 1月29日(金) 午前11時～午前11時30分

と ころ 練馬区役所本庁舎5階区長応接室(豊玉北6-12-1)

29日、リオデジャネイロ パラリンピック(卓球男子クラス9(立位))に出場する岩渕 幸洋選手(いわぶち こうよう:早稲田大学3年(21歳)卓球部所属:練馬区内在住)が前川耀男練馬区長へ表敬訪問し、大舞台での健闘を誓った。

前川区長は岩渕選手に「パラリンピックの代表に選ばれたのは、練馬区の誇りだと思っている。ぜひ、頑張ってきてほしい。」とエールを送った。岩渕さんは、「まずは、メダル獲得を目標に頑張りたい」と話した。



岩渕選手と区長

### 【当日の様子】

前川区長から将来のことを聞かれた岩渕選手は「東京オリンピックも視野に入れて、卓球を続けていきたい」とのメッセージを述べ、懇談は和やかな雰囲気が進み、「パラリンピックが開催される前までに世界ランキングを1桁にしたい」とパラリンピック出場へ向けて意気込みを語った。

また、岩渕選手は卓球だけでなく、小さい頃からスキーなどのスポーツにも親しみ、体を動かすことが好きであったとのエピソードも披露した。



パラリンピックに向けて意気込みを語る岩渕選手

### 【岩渕 幸洋 選手】

現在、区内在住の大学3年生(21歳)。中学1年(12)で卓球を始め、現在は早稲田大学卓球部に所属し、教育学部地球科学専攻している。国内で開催されている国際クラス別肢体不自由者選手権では、2014年から2連覇中のほか、国際大会でも優勝を経験しており、2016年1月現在の世界ランキングは11位である。

パラリンピックの卓球は、障害のクラスによって、1～5の車いす、6～10の立位と10のクラスがある。岩渕選手はクラス9で2番目に軽いクラスで出場する。